

副学長

Executive Vice President for Medical Affairs

理事・副学長・病院長 小林 正 Masashi Kobayashi

著 書

- 1) 小林 正：代謝・栄養障害による疾患患者へのアプローチ。「内科学」小林 正編，2313-2317，医学書院，東京，2006。
- 2) 小林 正：異常インスリン血症。「内科学」小林 正編，2446-2448，医学書院，東京，2006。
- 3) 小林 正：インスリン受容体異常症。「最新糖尿病学-基礎と臨床-」垂井清一郎他編，180-187，朝倉書店，東京，2006。
- 4) 浦風雅春，小林 正：糖尿病合併症の疫学。「からだの科学」25-31，日本評論社，東京，2006。
- 5) 薄井 勲，小林 正：第10章；インスリン分泌促進薬からインスリンへの切り替え、インスリン分泌促進薬-SU薬とグリニド。「インスリン分泌促進薬-SU薬とグリニド」清野 裕編，フジメディカル出版，大阪，2006。
- 6) 薄井 勲，小林 正：インスリン抵抗性の成因と分子機構；7.インスリン抵抗性に関連する新しい分子「FFA」。「インスリン抵抗性」松澤佑次他編，医学書院，東京，2006。

原 著

- 1) 小林 正，山崎勝也，薄井 勲：わが国における2型糖尿病患者の治療実態 - 6,471例を対象としたアンケート調査成績 - 。Diabetes Frontier，17：379-383，2006。
- 2) 小林 正，山崎勝也，金塚 東，糖尿病データマネジメント研究会：CoDiC データ解析からみた糖尿病専門施設における治療実態。糖尿病診療マスター，4：751-755，2006。
- 3) 高井昌彦，田中紀子，金塚 東，小林 正，糖尿病データマネジメント研究会：強化インスリン療法における2型糖尿病に対する超速効型インスリン（インスリン アスパルト）の有効性に関する研究（JDDM 5）- ヒトインスリンとの比較検討 - 。Progress in Medicine，26：168-173，2006。
- 4) 武田 浩，高木廣文，横山宏樹，小林 正，糖尿病データマネジメント研究会：2型糖尿病患者におけるbaPWVの検討（JDDM 6）。Progress in Medicine，26：199-202，2006。
- 5) 金塚 東，川井紘一，平尾紘一，大石まり子，高木廣文，小林 正，糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）：2型糖尿病患者における薬物療法に関する実態調査（ ）- 薬物療法と使用薬剤 - 。糖尿病，49：409-415，2006。
- 6) 金塚 東，川井紘一，平尾紘一，大石まり子，高木廣文，小林 正，糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）：2型糖尿病患者における薬物療法に関する実態調査（ ）- 薬物療法と血糖コントロール（JDDM 7）- 。糖尿病，49：919-927，2006。
- 7) 川井紘一，平尾紘一，山内幹郎，岩崎皓一，阿部信行，高井昌彦，新井桂子，能登谷洋子，三輪 隆，前田 一，山本律子，高木廣文，小林 正，糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）：2型糖尿病患者におけるNPHインスリン1日1～2回投与からノボラピッド®30ミックス1日1～2回投与へ切り替え時の臨床的有用性（JDDM 9）- Japan Diabetes Clinical Data Management Study Group（JDDM）前向き試験における検討 - 。クリニカルプラクティス，25：1098-1103，2006。
- 8) Kobayashi M., Yamazaki K., Hirao K., Oishi M., Kanatsuka A., Yamauchi M., Takagi H., and Kawai K.: The status of diabetes control and antidiabetic drug therapy in Japan-A cross sectional survey of 17,000 patients with diabetes mellitus (JDDM 1). Diabetes Res Clin Practice, 73: 198-204, 2006.
- 9) Sone H., Kawai K., Takagi H., Yamada N., and Kobayashi M.: Outcome of one-year of specialist care of patients with type 2 diabetes: a multi-center prospective survey (JDDM 2). Internal Medicine, 45: 589-597, 2006.
- 10) Kanatsuka A., Kawai K., Hirao K., Oishi M., Takagi H., Kobayashi M., and Group J.D.C.D.M.S.: Actual usage and clinical effectiveness of insulin preparations in patients with type 1 diabetes mellitus in Japan: CoDiC®-based analysis of clinical data obtained at multiple institutions (JDDM 3). Diabetes Res Clin Practice, 3513: 1-7, 2006.
- 11) Miyabayashi K., Maruyama M., Yamada T., Shinoda C., Hounoki H., Kanatani Y., Shinoda K., Kawagishi Y., Miwa T., Suzuki K., Arai N., Hayashi R., Matsui S., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Isoproterenol suppresses cytokine-induced RANTES secretion in human lung epithelial cells through the inhibition of c-jun N-terminal kinase pathway. Biochem Biophys Res

Commun, 350: 753-761, 2006.

- 12) Yamada T., Maruyama M., Fujita T., Miyabayashi K., Shinoda C., Kawagishi Y., Fujishita T., Hayashi R., Miwa T., Arai N., Matsui S., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Ionizing radiation suppresses FAP-1 mRNA level in A549 cells via p53 activation. FEBS Lett, 580: 4387-4391, 2006.
- 13) He J., Usui I., Ishizuka K., Kanatani Y., Hiratani K., Iwata M., Bukhari A., Haruta T., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Interleukin-1 inhibits insulin signaling with phosphorylating insulin receptor substrate-1 on serine residues in 3T3-L1 adipocytes. Mol Endocrinol, 20(1): 114-124, 2006.
- 14) Nagira K., Sasaoka T., Wada T., Fukui K., Ikubo M., Hori S., Tsuneki H., Saito S., and Kobayashi M.: Altered subcellular distribution of estrogen receptor- is implicated in estradiol-induced dual regulation of insulin signaling in 3T3-L1 adipocytes. Endocrinology, 147: 1020-1028, 2006.
- 15) Yamaguchi M., Kaseda C., Yamazaki K., and Kobayashi M.: Prediction of blood glucose level of type 1 diabetics using response surface methodology and data mining. Med Bio Eng Comput, 44: 451-457, 2006.

症例報告

- 1) 多喜博文, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正: 関節リウマチに対するブシラミン投与中止半年後に発症した重症筋無力症の1例. 中部リウマチ, 37: 84-85, 2006.
- 2) 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 慢性結節性痛風を合併した女性関節リウマチ患者の1例. 中部リウマチ, 37: 44-45, 2006.
- 3) 岩田 実, 多喜博文, 笹岡利安, 佐藤 啓, 薄井 勲, 宇野立人, 岸田みか, 鈴木ひかり, 石木 学, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: シェーグレン症候群を合併した嚢胞性リンパ球性下垂体炎と考えられる1例. ホルモンと臨床, 54: 10-17, 2006.

総 説

- 1) 小林 正: Metformin とチアゾリジン誘導体. 内科, 97: 61-66, 2006.
- 2) 小林 正: インスリン (IRI) C-ペプチド (CPR). 最新-臨床検査のABC-, 135: S271-S273, 2006.
- 3) 山崎勝也, 小林 正: 経口血糖降下薬とインスリン製剤の併用. 看護技術, 52: 947-950, 2006.
- 4) 中川 肇, 林 隆一, 小林 正: 電子カルテにおける情報共有のためのコミュニケーション機能と真正性を確保した追認機能の開発. 診療録管理, 18: 37-41, 2006.

学会報告

- 1) 河岸由紀男, 三輪敏郎, 鳴河宗聡, 林 龍二, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: ゲフィチニブによる効果が得られた KL-6 高値の肺癌の一例. 第 53 回日本肺癌学会北陸部会, 2006, 2, 金沢.
- 2) 鈴木健介, 酒井麻夫, 岩佐桂一, 平岩義雄, 前田宣延, 三輪敏郎, 丸山宗治, 小林 正: MGUS を伴った肺小細胞癌の1例. 第 53 回日本肺癌学会北陸部会, 2006, 2, 金沢.
- 3) 岩田 実, 山崎勝也, 金谷由紀子, 宇野立人, 浦風雅春, 笹岡利安, 小林 正, 明石拓也, 野崎哲夫, 布施秀樹, 福岡順也: Preclinical Cushing 症候群を呈した ACTH 非依存性両側副腎皮質大結節性過形成 (AIMAH) の一例. 第 16 回臨床内分泌代謝 Update, 2006, 3, 石川.
- 4) 石木 学, 長谷川悦代, 菊川哲英, 河岸由紀男, 多喜博文, 三輪敏郎, 岩田 実, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: 血糖コントロールが悪化した際に、縦隔癌が発見された 2 型糖尿病の一例. 第 73 回日本糖尿病学会中部地方会, 2006, 3, 石川.
- 5) 松島千尋, 岩田 実, 山崎勝也, 多喜博文, 浦風雅春, 小林 正, 明石拓也, 布施秀樹, 福岡順也, 笹野公伸: Preclinical Cushing 症候群を呈した ACTH 非依存性両側副腎皮質大結節性過形成 (AIMAH) の一例. 第 199 回日本内科学会北陸地方会, 2006, 3, 石川.
- 6) 瀧川章子, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 藤田 聡, 宇野立人, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 菅原秀徳, 泉野 潔: パセドウ病に対するプロピルサイオウラシル治療中に ANCA 関連血管炎と抗リン脂質抗体症候群の合併を認めた 1 例. 第 198 回日本内科学会北陸地方会, 2006, 3, 福井.
- 7) 杉山英二, Mohamed, S.G.K., 篠田晃一郎, 朴木博幸, 多喜博文, 宮原龍郎, 小林 正: 抗炎症性サイトカインの破骨細胞分化誘導抑制作用; IL-4 と IL-10 は AP-1/NFATc1 シグナル抑制を介して相加的に破骨細胞の分化を抑制する. 第 50 回日本リウマチ学会総会学術集会, 2006, 4, 長崎.

- 8) 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 松下 功, 引網宏彰, 杉山英二, 小林 正, 木村友厚: 関節リウマチ患者におけるミネソタ多面的人格目録 (MMPI) プロフィールの検討. 第 50 回日本リウマチ学会総会学術集会, 2006, 4, 長崎.
- 9) 朴木博幸, 杉山英二, 篠田晃一郎, Mohamed, S.G.K., 多喜博文, 宮原龍郎, 岸 裕幸, 村口 篤, 小林 正: アデノ随伴ウイルスベクターを用いた IL-4 遺伝子治療の基礎的検討; TNF による破骨細胞分化誘導に対する抑制効果について. 第 50 回日本リウマチ学会総会学術集会, 2006, 4, 長崎.
- 10) 松下 功, 杉山英二, 多喜博文, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 引網宏彰, 長田龍介, 小坂英子, 小林 正, 木村友厚: 学生教育ツールとしての関節リウマチ教育検診入院. 第 50 回日本リウマチ学会総会学術集会, 2006, 4, 長崎.
- 11) 浦風雅春, 山崎勝也, 岩田 実, 薄井 勲, 川原順子, 岸田みか, 仙田聡子, 手丸理恵, 福島泰男, 五十嵐保史, 小橋親晃, 浅水幸恵, 福居和人, 村上史峰, 山崎 夕, 澤崎茂樹, 池本雅仁, 大角誠治, 小林 正: 2 型糖尿病患者に対するグリメピリド 0.5mg 投与の有用性. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 12) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文, 糖尿病データマネジメント研究会: CoDiC を使用した多施設での糖尿病臨床データの解析 (第 7 報) -多施設でのデータ解析-. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 13) 薄井 勲, 山崎勝也, 高野敦子, 村上史峰, 山崎 夕, 浦風雅春, 蜂谷春雄, 鷹田美智代, 仙田聡子, 岩田 実, 佐藤 啓, 笹岡利安, 手丸理恵, 小林 正: 高血圧合併糖尿用患者におけるテルミサルタンのインスリン抵抗性改善効果と降圧効果についての検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 14) 岩田 実, 藤川真理子, 山崎勝也, 薄井 勲, 金谷由紀子, 石塚 健, 賀 剣英, 宇野立人, 平谷和幸, 市崎雅子, 小林 正: 内臓蓄積発症に関与する生活習慣の検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 15) 石木 学, Amira, K., 小林 正: インスリンによる GLUT4 の細胞膜への移動は、異なるフォスホオリピッドにより、アクチンフィラメントへの依存性が異なる. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 16) 井窪万里子, 笹岡利安, 福居和人, 石木 学, 石原 元, 和田 努, 小林 正: 3T3-L1 脂肪細胞でのリピッドホスファターゼ SHIP2、SKIP、PTEN によるインスリンシグナルの制御特性の検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 17) 金谷由紀子, 薄井 勲, Bukhari, A., 石塚 健, 藤坂志帆, 賀 剣英, 平谷和幸, 石木 学, 岩田 実, 浦風雅春, 小林 正: SOCS3 は 3T3-L1 脂肪細胞からの adiponectin 分泌を抑制する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 18) 小橋親晃, 浦風雅春, 浅水幸恵, 藤坂志帆, 金谷由紀子, 石塚 健, 石木 学, 岩田 実, 山崎勝也, 薄井 勲, 浦風雅春, 小林 正: アスタキサンチンのヒト脂肪細胞における IL-8 作用の抑制効果. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 19) 石塚 健, 薄井 勲, 金谷由紀子, 賀 剣英, Bukhari, A., 藤坂志帆, 岩田 実, 平谷和幸, 石木 学, 小橋親晃, 浅水幸恵, 浦風雅春, 小林 正: チアゾリジン誘導体は SOCS3 の発現を抑制し、TNF によるインスリン抵抗性を改善する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 20) 浅水幸恵, 浦風雅春, 小橋親晃, 藤坂志帆, 金谷由紀子, 石塚 健, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 浦風雅春, 小林 正: C-reactive protein は 3T3-L1 脂肪細胞からの MCP-1 産生を増強する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 21) 藤坂志帆, 薄井 勲, Bukhari, A., 金谷由紀子, 石塚 健, 賀 剣英, 岩田 実, 石木 学, 平谷和幸, 浦風雅春, 小林 正: テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいてインスリン抵抗性を改善させ、脂肪細胞を小型化する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 22) 大井圭子, 湯浅ゆき子, 浦風雅春, 小林 正: インスリン外来導入クリティカルパスの考案-指導後電話訪問を行った 5 例の分析から-. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 23) 柳楽清文, 笹岡利安, 和田 努, 薄井 勲, 井窪万里子, 小林 正, 斉藤 滋: エストラジオール (E2) がインスリン感受性に及ぼす影響の培養系と個体での検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 24) 宇野立人, 浦風雅春, 鈴木ひかり, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 山崎勝也, 小林 正: 出産を契機に TSAb 陽性甲状腺中毒症をきたした TSAb 陽性甲状腺機能低下症の一例. 第 79 回日本内分泌学会学術総会, 2006, 5, 神戸.
- 25) 鈴木ひかり, 岩田 実, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: 当院で経験したラトケ嚢胞の 5 例. 第 79 回日本内分泌学会学術総会, 2006, 5, 神戸.
- 26) 宮林弘太郎, 丸山宗治, 山田 徹, 篠田千恵, 篠田晃一郎, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤下 隆, 荒井信貴, 林 龍二, 松井祥子, 小林 正: ヒト気道上皮細胞での isoproterenol の RANTES 産生抑制作用への c-jun N-terminal kinase 経路の関与. 第 58 回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 5, 金沢.

- 27) 黒田一成, 篠田晃一郎, 三輪敏郎, 浦風雅春, 河岸由紀男, 林 龍二, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 縦隔気腫と皮下気腫を併発した間質性肺炎の1例. 第58回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 5, 金沢.
- 28) 松井祥子, 河岸由紀男, 鳴河宗聡, 三輪敏郎, 林 龍二, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林 正: 肺病変を合併した Mikulicz 症候群の臨床的検討. 第46回日本呼吸器学会学術講演会, 2006, 6, 東京.
- 29) 林 龍二, 丸山宗治, 小林 正: A549 細胞における interleukin-1 誘発性 granulocyte monocyte colony stimulating factor 発現に対するグルココルチコイドの多段階抑制機序. 第46回日本呼吸器学会学術講演会, 2006, 6, 東京.
- 30) 河岸由紀男, 三輪敏郎, 林 龍二, 荒井信貴, 鳴河宗聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における市中肺炎入院症例の臨床的検討. 第46回日本呼吸器学会学術講演会, 2006, 6, 東京.
- 31) 山田 徹, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 篠田千恵, 三輪敏郎, 河岸由紀男, 藤下 隆, 林 龍二, 荒井信貴, 松井祥子, 小林 正, 赤川直次: ProGRP 高値を示した珪肺患者2症例. 第46回日本呼吸器学会学術講演会, 2006, 6, 東京.
- 32) 杉山英二, 朴木博幸, 篠田晃一郎, Mohamed, S.G.K., 多喜博文, 小林 正, 宮原龍郎: 15-deoxy-12,14-prostaglandin J2 は TNF によるヒト単球の破骨細胞誘導を抑制する. 第24回日本骨代謝学会学術集会, 2006, 7, 東京.
- 33) 朴木博幸, 杉山英二, 篠田晃一郎, Mohamed, S.G.K., 多喜博文, 岸 裕幸, 村口 篤, 小林 正, 宮原龍郎: アデノ随伴ウイルスベクター (AAV) を用いた IL-4 遺伝子導入によるヒト破骨細胞分化抑制効果に関する検討. 第24回日本骨代謝学会学術集会, 2006, 7, 東京.
- 34) Mohamed S.G.K., Sugiyama E., Shinoda K., Hounoki H., Taki H., Kobayashi M., and Miyahara T.: Interleukin-10 inhibits RANKL-induced expression of NFATc1, c-Fos and c-Jun: A possible mechanism for downregulation of osteoclastogenesis. 第24回日本骨代謝学会学術集会, 2006, 7, 東京.
- 35) 鈴木健介, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 山田 徹, 鳴河宗聡, 荒井信貴, 林 龍二, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における Gefitinib 投与例の検討. 第54回日本肺癌学会北陸部会, 2006, 7, 高岡.
- 36) 多喜博文, 河岸由紀男, 石木 学, 鈴木ひかり, 山田 徹, 岩田 実, 松井祥子, 篠田晃一郎, 杉山英二, 小林 正: Infliximab 治療導入後早期に発症したびまん性肺疾患の2例. 第18回中部リウマチ学会, 2006, 9, 三重.
- 37) 篠田晃一郎, 林 龍二, 庵 弘之, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 村上 純: 自己免疫性溶血性貧血を合併した原発性シェーグレン症候群の1例. 第18回中部リウマチ学会, 2006, 9, 三重.
- 38) 篠田晃一郎, 黒田一成, 朴木博幸, 三輪敏郎, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 皮膚筋炎、関節リウマチ合併間質性肺炎の治療経過中に縦隔気腫を来した1例. 第18回中部リウマチ学会, 2006, 9, 三重.
- 39) 小林直子, 山田 徹, 篠田晃一郎, 岩田 実, 多喜博文, 松井祥子, 杉山英二, 小林 正: 強皮症に腸管囊腫様気腫症を合併した一例. 第18回中部リウマチ学会, 2006, 9, 三重.
- 40) 篠田晃一郎, 朴木博幸, 多喜博文, 林 龍二, 山崎勝也, 杉山英二, 小林 正, 村上 純: IgM 型温式自己免疫性溶血性を合併した原発性シェーグレン症候群の1例. 第15回日本シェーグレン症候群研究会, 2006, 9, 横浜.
- 41) 吉村 築, 鈴木健介, 河岸由紀男, 宇野立人, 浦風雅春, 三輪敏郎, 林 龍二, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 化学療法が奏功した胸腺腫術後再発の1例. 第200回日本内科学会北陸地方会, 2006, 9, 富山.
- 42) 薄井 勲, 金谷由紀子, 藤坂志帆, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 石木 学, 岩田 実, Bukhari, A., 浦風雅春, 小林 正: 脂肪細胞における SOCS3 発現がインスリン抵抗性に与える影響. 第74回日本糖尿病学会中部地方会, 2006, 10, 愛知.
- 43) 小林直子, 岩田 実, 山田 徹, 松井祥子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 平谷和幸, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 林 央周, 遠藤俊郎, 笹岡利安, 福岡順也, 加藤弘巳, 沖 隆: 下垂体 macroadenoma による Cushing 病の一例. 第6回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 2006, 10, 石川.
- 44) 丸山宗治, 山田 徹, 鈴木健介, 三輪敏郎, 荒井信貴, 河岸由紀男, 林 龍二, 松井祥子, 小林 正, 折原正周, 土岐善紀: 肺結核と Crohn 病に合併した左胸壁腫瘍の1例. 第58回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 11, 福井.
- 45) 林 龍二, 篠田晃一郎, 三輪敏郎, 河岸由紀男, 荒井信貴, 山田 徹, 鈴木健介, 松井祥子, 多喜博文, 杉山英二, 丸山宗治, 小林 正: 当科入院関節リウマチ患者の呼吸器病変の検討. 第58回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 11, 福井.
- 46) 河岸由紀男, 林 龍二, 三輪敏郎, 荒井信貴, 松井祥子, 鈴木健介, 山田 徹, 丸山宗治, 小林 正, 藤田 聡: 化学療法後に器質性肺炎を合併し特異な経過を示した肺腺癌の一例. 第58回日本呼吸器学会合同北陸地方会, 2006, 11, 福井.
- 47) 岩田 実, 浦風雅春, 鈴木ひかり, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 平谷和幸, 薄井 勲, 山崎勝也, 小林 正, 坪田雅仁, 安部英樹, 藤坂実千郎, 渡辺行雄, 石井陽子: Riedel 甲状腺炎が疑われた1例. 第49回日本甲状腺学会,

2006, 11, 高松.

- 48) 宮林弘太郎, 丸山宗治, 河岸由紀男, 荒井信貴, 山田 徹, 三輪敏郎, 林 龍二, 松井祥子, 小林 正: 作用薬イソプロテレノールのヒト気管支上皮細胞での RANTES 産生抑制機序の解析. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2006, 11, 東京.
- 49) 井窪万里子, 笹岡利安, 和田 努, 福居和人, 石木 学, 石原 元, 恒枝宏史, 小林 正: リピッドホスファターゼの阻害によるインスリンシグナルの制御特性の 3T3-L1 脂肪細胞での比較検討. 第 18 回分子糖尿病学シンポジウム, 2006, 12, 愛媛.
- 50) 金谷由紀子, 薄井 勲, 石塚 健, 藤坂志帆, Bukhari, A., 賀 剣英, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 石木 学, 浦風雅春, 小林 正: Pioglitazone は SOCS3 の発現を抑制する: そのインスリン抵抗性改善機序の検討. 第 18 回分子糖尿病学シンポジウム, 2006, 12, 愛媛.
- 51) 鈴木健介, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 林 龍二, 山田 徹, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における Gefitinib 投与例の解析-ガイドライン前後における患者背景・奏功率の変化について- 第 47 回日本肺癌学会総会, 2006, 12, 京都.
- 52) Matsui S., Sugiyama E., Taki H., Kawagishi Y., Miwa T., Arai N., Hayashi R., Maruyama M., and Kobayashi M.: Pulmonary involvement in patients with primary Sjögren's syndrome. ATS 2006 International Conference, 2006, 5, San Diego.
- 53) Urakaze M., Kobashi C., Asamizu S., Fujisaka S., Kanatani Y., Ishizuka K., He J., Bukhari A., Ishiki M., Iwata M., Usui I., Yamazaki K., and Kobayashi M.: Astaxanthin inhibits IL-8-induced ERK phosphorylation in human adipocytes in vitro. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 54) Kanatani Y., Usui I., Ishizuka K., He J., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., and Kobayashi M.: Reduced expression of SOCS3 in fat tissue is related to improved insulin sensitivity by pioglitazone in db/db mice. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 55) Ishizuka K., Usui I., Kanatani Y., He J., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., and Kobayashi M.: Pioglitazone improves TNF α -induced insulin resistance via reduced expression of SOCS3 in 3T3-L1 adipocytes. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 56) Fujisaka S., Usui I., Bukhari A., Kanatani Y., Ishizuka K., He J., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., and Kobayashi M.: Telmisartan improves insulin sensitivity with reduced adipocytes size in high fat-fed mice. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 57) He J., Usui I., Kanatani Y., Ishizuka K., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., and Kobayashi M.: Long term IL-1 treatment inhibits insulin signaling via NF κ B-dependent IL-6 production and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 58) Usui I., Kanatani Y., Ishizuka K., Fujisaka S., He J., Bukhari A., Yamazaki Y., Suzuki H., Ishiki M., Urakaze M., and Kobayashi M.: Pioglitazone improves insulin sensitivity by increasing adiponectin secretion from fat tissue via reduced expression of SOCS3. 2nd Scientific Meeting of the Asian-Pacific Diabetes and Obesity Study Group, 2006, 8, Kyoto.
- 59) Usui I., Ishizuka K., Kanatani Y., Fujisaka S., Bukhari A., He J., Yamazaki Y., Suzuki H., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., and Kobayashi M.: Chronic TNF α treatment causes insulin resistance by enhancing IL-6 production and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 60) Ikubo M., Sasaoka T., Fukui K., Ishihara H., Ishiki M., Wada T., and Kobayashi M.: Clarification of the characteristics in the negative regulation of insulin signaling by lipid phosphatases SHIP2, SKIP and PTEN in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 61) Kanatani Y., Usui I., Ishizuka K., He J., Bukhari A., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., and Kobayashi M.: SOCS3 decreases adiponectin production in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 62) Fujisaka S., Usui I., Bukhari A., Kanatani Y., Yamazaki Y., Suzuki H., He J., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., and Kobayashi M.: Telmisartan improves insulin sensitivity with reduced adipocytes size in high Fat-fed mice. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 63) He J., Usui I., Kanatani Y., Ishizuka K., Bukhari A., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., and Kobayashi M.: Long term IL-1 treatment inhibits insulin signaling via NF κ B-dependent IL-6 production and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.

その他

- 1) 小林 正：生活習慣病；メタボリック・シンドロームとは。健康 21 で予防できるか？。富山市医師会報，418：24-30，2006。
- 2) 小林 正：糖尿病の予防と地域医療。Schneller，57：3-7，2006。
- 3) 小林 正：かかりつけ医による糖尿病診療。日医ニュース，1084：5，2006。
- 4) 小林 正，石木 学：医学と人生。キッセイカール，24(4)：2006。
- 5) 藤坂志帆，薄井 勲，小林 正：テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいて脂肪細胞を小型化し、インスリン抵抗性を改善させる。Medical Tribune，9月28日特別企画号：66，2006。
- 6) 山腰高子，岩田 実，山崎勝也，薄井 勲，石木 学，宇野立人，平谷和幸，浦風雅春，小林 正，菅原秀徳，泉野 潔：ANCA 関連腎炎を合併した 2 型糖尿病の一例。第 3 回富山糖尿病合併症を考える会，2006，2，富山。
- 7) 山腰高子，岩田 実，山崎勝也，薄井 勲，石木 学，宇野立人，平谷和幸，浦風雅春，小林 正，菅原秀徳，泉野 潔：ANCA 関連腎炎を合併した 2 型糖尿病の一例。第 83 回中部地区老年医学談話会，2006，2，名古屋。
- 8) 長谷川悦代，石木 学，菊川哲英，河岸由紀男，黒田一成，篠田晃一郎，三輪敏郎，多喜博文，岩田 実，薄井 勲，山崎勝也，浦風雅春，小林 正，若栗宣人：ACTH の周期性高値を認め、前縦隔腫瘍を合併した 2 型糖尿病患者の一例。第 12 回富山県糖尿病研究会，2006，3，富山。
- 9) 山田 徹，丸山宗治，宮林弘太郎，篠田千恵，河岸由紀男，林 龍二，松井祥子，小林 正：電離放射線による細胞表面への Fas 誘導機序の解析。第 12 回癌治療増感研究会，2006，5，富山。
- 10) 岩田 実，山崎勝也，薄井 勲，宇野立人，平谷和幸，石木 学，小橋親晃，浦風雅春，市崎雅子，藤川真理子，小林 正：内蔵脂肪蓄積発症に関与する生活習慣の検討。第 72 回北陸糖尿病集談会，2006，7，石川。
- 11) 岩田 実，山崎勝也，薄井 勲，宇野立人，平谷和幸，石木 学，小橋親晃，浦風雅春，小林 正，藤川真理子，市崎雅子：内蔵脂肪蓄積発症に関与する生活習慣の検討。第 8 回富山生活習慣病を考える会，2006，8，富山。
- 12) 山田 徹，小林直子，岩田 実，松井祥子，杉山英二，小林 正：ST 合剤により低ナトリウム血症と高カリウム血症をきたした関節リウマチの一例。第 21 回富山県リウマチ性疾患研究会，2006，8，富山。
- 13) 松井祥子，朴木博幸，篠田晃一郎，多喜博文，杉山英二，小林 正：原発性シェーグレン症候群における呼吸器病変の臨床的検討。第 15 回日本シェーグレン症候群研究会，2006，9，横浜。
- 14) 小林 正：糖尿病の予防と対策。第 2 回クスリのアオキヘルスアップセミナー in 富山，2006，10，富山。
- 15) 平谷和幸，薄井 勲，刀塚俊起，石木 学，岩田 実，山崎勝也，浦風雅春，小林 正：典型的な溶血所見を示さず、血糖値と HbA1c の乖離を示した糖尿病を合併した有口赤血球症の一例。第 1 回富山メタボリックフォーラム，2006，10，富山。
- 16) 藤坂志帆，薄井 勲，Bukhari, A.，金谷由紀子，石塚 健，賀 剣英，岩田 実，石木 学，平谷和幸，浦風雅春，小林 正：テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいてインスリン抵抗性を改善させ、脂肪細胞を小型化する。第 1 回富山メタボリックフォーラム，2006，10，富山。
- 17) 鈴木ひかり，岩田 実，鈴木健介，能登義弘，丸山宗治，宇野立人，石木 学，薄井 勲，平谷和幸，山崎勝也，浦風雅春，小林 正，長谷川真作，浜田秀雄，林 央周，遠藤俊郎，福岡順也：下垂体腺腫と考えられていたが、術中迅速診断にてリンパ球性下垂体炎と診断された一例。第 32 回富山内分泌代謝セミナー，2006，11，富山。
- 18) 小林直子，岩田 実，山田 徹，松井祥子，小橋親晃，宇野立人，石木 学，薄井 勲，平谷和幸，山崎勝也，小林 正，浦風雅春，林 央周，遠藤俊郎，笹岡利安，福岡順也，加藤弘巳，沖 隆：高分子量 ACTH の産生を認めた下垂体 microadenoma による Cushing 病の一例。第 32 回富山内分泌代謝セミナー，2006，11，富山。
- 19) 小林 正，浦風雅春，山崎勝也，石木 学：厚生労働省戦略研究（診療中断の半減を目指して）J-DOIT2 をめぐって。第 23 回中部地区 E・B・M 糖尿病セミナー，2006，12，富山。
- 20) 平谷和幸，薄井 勲，石木 学，岩田 実，山崎勝也，浦風雅春，小林 正，刀塚俊起：典型的な溶血所見を伴わず血糖と HbA1c との解離を示した有口赤血球症を合併した糖尿病の一例。第 73 回北陸糖尿病集談会，2006，12，金沢。